※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１２

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	未来へつなぐ家庭総合３６５　（教育図書株式会社）						
副教材等	未来へつなぐ家庭総合３６５　マスターノート　（教育図書株式会社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●家庭生活に関心を持ち、生活の課題をみつけ、解決するよう、積極的に取り組みましょう。
- 学んだことを自分の生活と結びつけ、よりよい生活をめざします。
- 成年の年齢が引き下げられ、より主体的に家庭生活をつくろうとする態度が求められるようになりました。そのために、実習や演習などを通して生活に関する様々な現象について理解を深め、知識を身につけます。
- 友だちの考えを知り、多様な考え方を学ぶことによって自分の考えを持ちましょう。
- 実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解と技術を身につけます。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。
(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3)様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	B編 第2章 衣生活と健康	第1章 1　衣服の役割って何だろう？ 2　衣服はどうやってつくられている？ 3　自分で衣服をつくってみよう 　～エプロンの制作～ 4　衣服の計画・管理を知ろう 5　今後の衣生活を考えよう	a:衣服の機能や衣服が健康に与える影響について理解している。 被服の入手、選択、保管などの被服管理について理解している。 衣服づくりの手順や必要な用具、基礎的な技術を身につけている。 b:学習を通して自分の着装について考え、まとめたり発表したりすることができる。 必要に応じた材料や手順を選ぶことができる。 衣服の機能や繊維の性質などについて学んだことを活用して科学的に考えている。 c:自分の衣生活の分析を通して、衣服に関心を持ち、自分や家族の衣生活を改善しようとしている。 着用の目的に応じて健康的な衣服選択と着装をしようとしている。	ノート 作品 定期考査	ノート 発表 ワークシート 定期考査	ノート ワークシート 作品

※令和４年度以降入学生用

2	B編 第1章 食生活と健康	1 なぜごはんを食べるの？ 2 私たちは何を食べているの？ 3 安全に食べよう 4 健康に食べよう 5 おいしく食べよう 6 これからも食事を楽しむために	a: 食と健康の関わりや栄養素の特徴とはたらきを理解している。 食品の表示の意味を理解し、自分や家族のために食品の選択・購入・保存をすることができる。 食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的に理解し、基礎的な調理の技術を身につけている。 b: 食品の表示を理解し、購入時に判断をすることができる。 食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、自分や家族の献立を考えることができる。 情報を収集し、食の安全や環境への配慮について考えをまとめたり発表したりすることができる。 c:食品の栄養的特徴や調理性の知識をいかし、自分や家族の食生活を改善しようとしている。 日々の食生活について、安全や衛生について意識して改善しようとしている。	ノート ワークシート 定期考査	ノート ワークシート レポート 発表	レポート
3	B編 第3章 住生活と住環境	1 どのように住みたい？ 2 安全に住もう 3 快適に住もう 4 住まいの課題と未来の暮らし	a: 住宅の役割を理解し、安全で快適な住生活を送るための知識を身につけている。 住居の平面図を読み取り、ライフステージごとの住空間の計画を立てることができる。 b: 防犯、防火、耐震などの安全性が高く、 c:	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート プリント ワークシート
3	C編 生涯の生活設計	1 生活にヒントがある 2 自分の生き方を設計しよう	a: b: c:	ノート プリント 定期考査	ノート ワークシート 定期考査	ノート プリント ワークシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度